

【ESS-U4X1/U4M1】

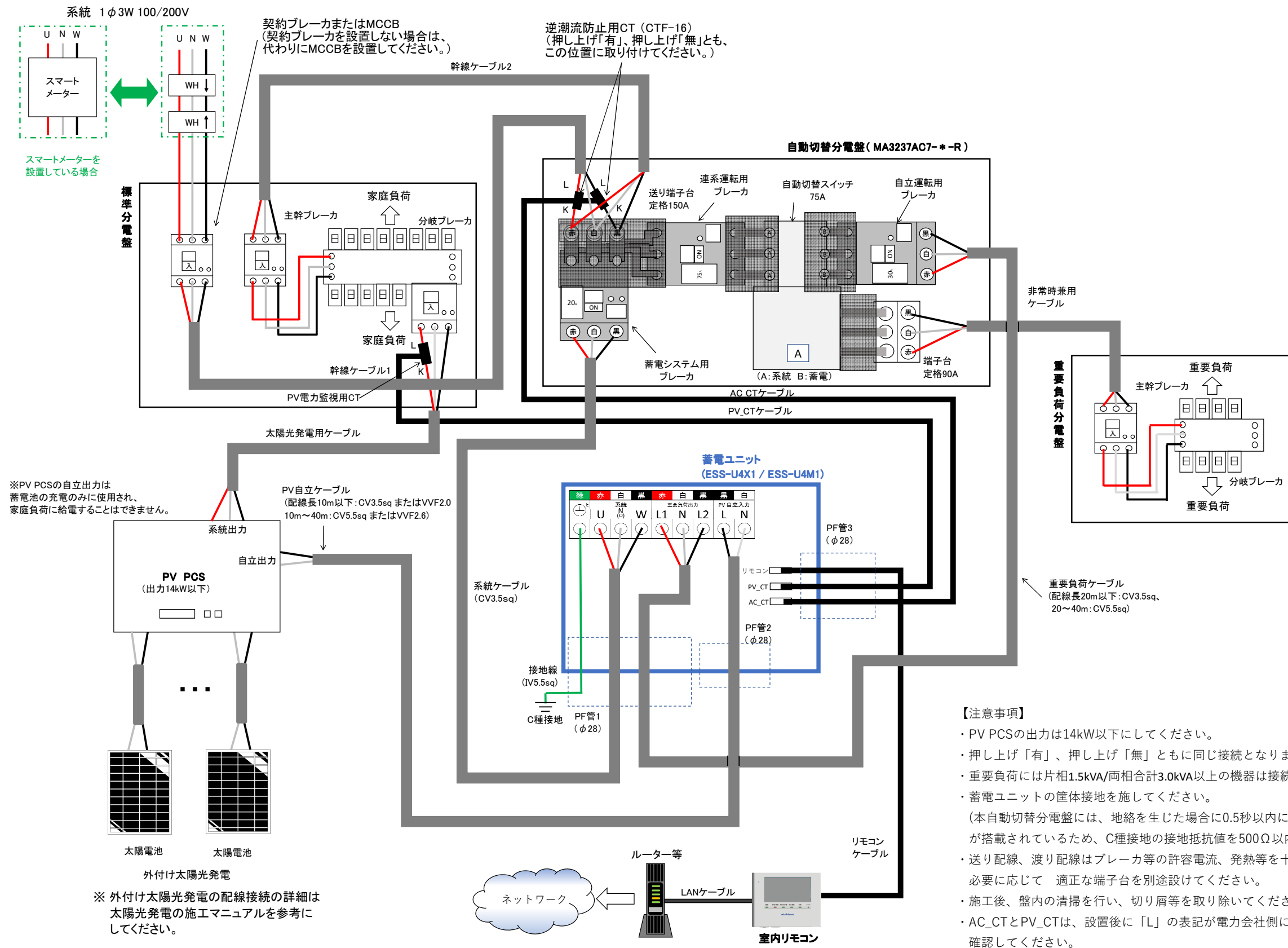
太陽光発電2次送り配線 – 重要負荷対応型 – 停電時に外付け太陽光発電を連系運転しない場合

目次

自動切替分電盤（MA3237AC7-*-R）を使用する場合.....	2
自動切替分電盤（EH-F1333-*-R）を使用する場合.....	3

【ESS-U4X1/U4M1】 - 自動切替分電盤(MA3237AC7-*R)を使用する場合

太陽光発電2次送り配線 - 重要負荷対応型 - 停電時に外付け太陽光発電を連系運転しない場合



- 【注意事項】
- ・ PV PCSの出力は14kW以下にしてください。
 - ・ 押し上げ「有」、押し上げ「無」とも同じ接続となります。
 - ・ 重要負荷には片相1.5kVA/両相合計3.0kVA以上の機器は接続しないでください。
 - ・ 蓄電ユニットの筐体接地を施してください。
(本自動切替分電盤には、地絡を生じた場合に0.5秒以内に回路を自動的に遮断する装置が搭載されているため、C種接地の接地抵抗値を500Ω以内にする事ができます。)
 - ・ 送り配線、渡り配線はブレーカ等の許容電流、発熱等を十分考慮してください。
必要に応じて 適正な端子台を別途設けてください。
 - ・ 施工後、盤内の清掃を行い、切り屑等を取り除いてください。
 - ・ AC_CTとPV_CTは、設置後に「L」の表記が電力会社側になっていることを確認してください。
 - ・ 最新の情報はニチコンホームページをご確認ください。

